



[トップページ](#) > ペルーの経済情勢（2022年第1四半期）

ペルーの経済情勢（2022年第1四半期）

2022/5/17

1 総論

最新のペルーの月例主要経済指標は、経済成長率4.92%（2月：前年同月比）、リマ首都圏のインフレ率6.82%（3月までの一年間）、対米ドル為替相場3.739ソル（3月平均値）、リマ首都圏の完全失業率9.4%（1月～3月）、財政収支約50億ソルの黒字（3月）、貿易収支約17億米ドルの黒字（2月）となった。

2 各論

(1) 主要経済指標

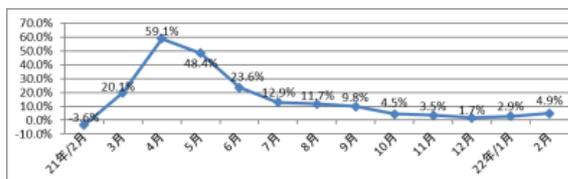
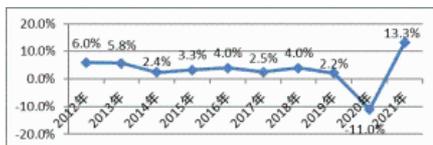
ペルー中央準備銀行及び国家統計情報庁によると、ペルーの主要経済指標は次のとおり。

ア 経済成長率

最新の経済成長率（GDP成長率）について、2月は主に宿泊・飲食業及び運輸・倉庫・郵便等の成長率の伸びが見られた一方、漁業等がマイナスとなり、全体としてGDP成長率は4.92%（前年同月比）となった。

GDP成長率(前年同月比)推移

2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2021年												2022年	
年間	年間	21年/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年/1月	2月									
6.0%	5.8%	2.4%	3.3%	4.0%	2.5%	4.0%	2.2%	-11.0%	13.3%	-3.6%	20.1%	59.1%	48.4%	23.6%	12.9%	11.7%	9.8%	4.5%	3.5%	1.7%	2.9%	4.9%	



分野別GDP成長率(2022年2月、前年同月比)

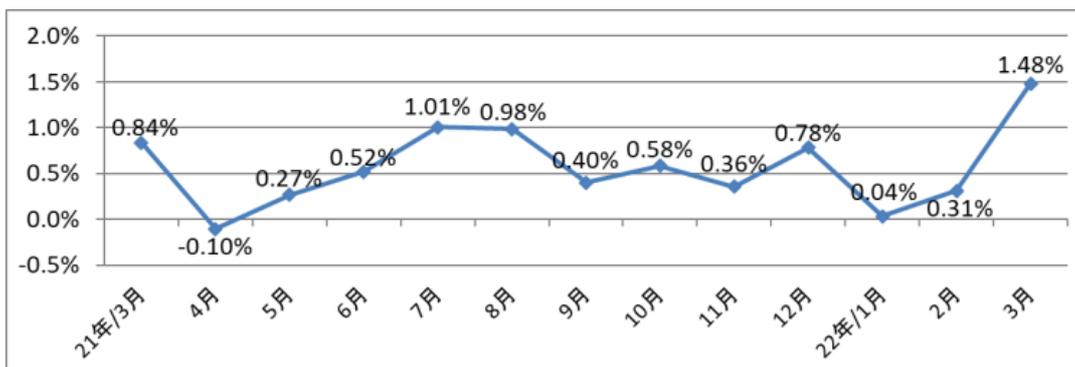
農牧	2.92%	運輸・倉庫・郵便等	15.80%
漁業	-21.08%	宿泊・飲食業	92.73%
鉱業・炭化水素	0.06%	通信・情報	5.73%
製造	2.95%	金融・保険	-2.18%
電力・ガス・水	4.36%	企業貸付	3.60%
建設	-2.53%	行政、国防等	3.87%
商業	7.48%	その他	5.07%

イ インフレ率

3月のリマ首都圏のインフレ率（消費者物価指数（前月比））は、1.48%となり、最近12か月（2021年4月～2022年3月）の上昇率は、6.82%となった。

リマ首都圏インフレ率(前月比)の推移

2017年間	2018年間	2019年間	2020年間	2021年間	21年/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年/1月	2月	3月
2.80%	1.32%	2.14%	1.83%	3.98%	0.84%	-0.10%	0.27%	0.52%	1.01%	0.98%	0.40%	0.58%	0.36%	0.78%	0.04%	0.31%	1.48%

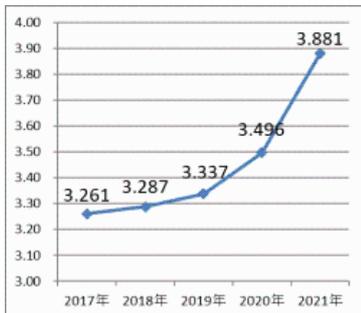


ウ 為替相場

3月の対米ドル為替相場の平均は3.739ソルであった。

為替の推移(ソル/ドル)(平均)

2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	21年/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年/1月	2月	3月
3.261	3.287	3.337	3.496	3.881	3.709	3.700	3.775	3.912	3.942	4.087	4.108	4.014	4.020	4.037	3.889	3.791	3.739

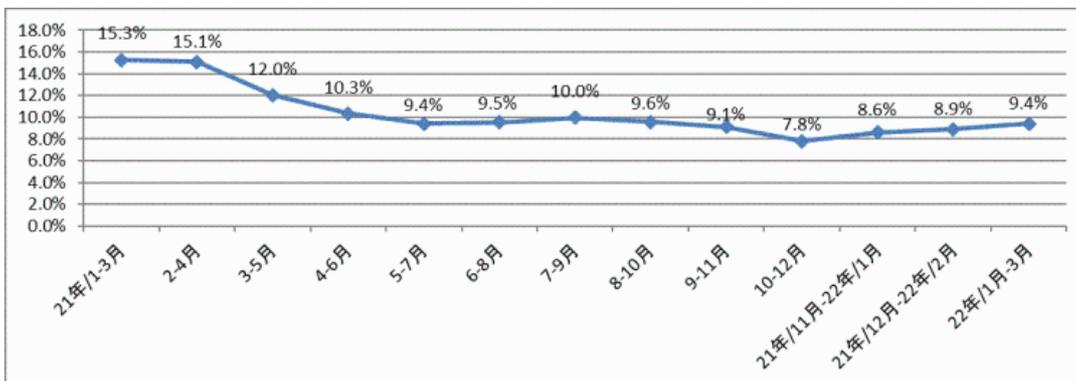


エ 失業率

1月～3月のリマ首都圏の完全失業率は9.4%であった。

リマ首都圏失業率推移

21年/1-3月	2-4月	3-5月	4-6月	5-7月	6-8月	7-9月	8-10月	9-11月	10-12月	21年/11月-22年/1月	21年/12月-22年/2月	22年/1月-3月
15.3%	15.1%	12.0%	10.3%	9.4%	9.5%	10.0%	9.6%	9.1%	7.8%	8.6%	8.9%	9.4%



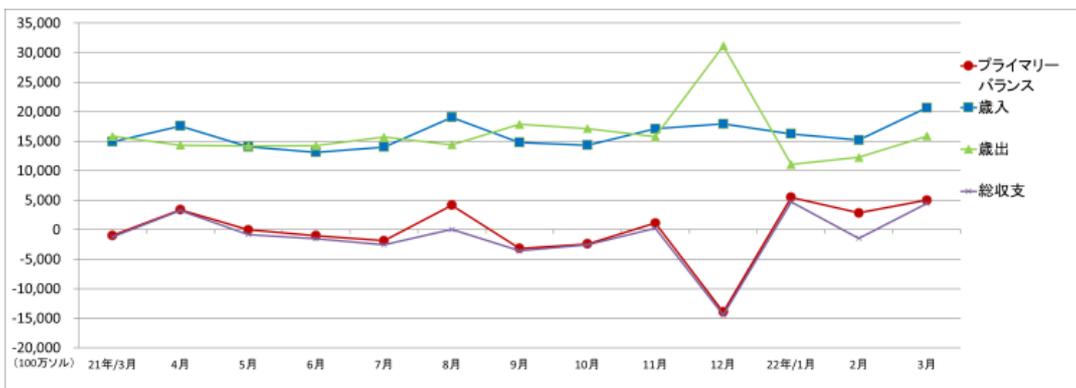
オ 財政収支

3月の政府全体の財政収支は、歳入が対前年同月比で38.6%増となり、歳出は同比で0.2%増となった。全体では、プライマリーバランスは約50億ソルの黒字となった。債務の利払いを含めると約45億ソルの黒字となった。

財政収支

	2017年間	2018年間	2019年間	2020年間	2021年間	21年/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年/1月	2月	3月	前年同月比	対前年同月比*
歳入	126,583	142,627	152,019	127,902	183,311	14,903	17,581	14,047	13,130	14,003	19,045	14,791	14,323	17,112	17,912	16,240	15,188	20,659	38.6	24.2
歳出	139,894	149,354	154,398	177,885	194,046	15,815	14,326	14,220	14,223	15,708	14,394	17,855	17,123	15,752	31,134	11,041	12,280	15,849	-0.2	-1.0
資本的収入	682	-328	641	-2,771	1,224	-56	130	143	91	-156	-485	-99	399	-225	-697	293	-53	206	-	-
プライマリーバランス	-12,629	-7,065	-1,728	-52,254	-9,512	-988	3,255	-30	-1,003	-1,860	4,167	-3,163	-2,401	1,135	-13,919	5,493	2,855	5,016	-	-
債務利払い	8,340	10,013	10,662	11,496	13,244	235	135	788	514	704	4,127	405	158	874	551	756	4,295	538	128.7	13.0
総収支	-20,969	-17,078	-12,391	-63,749	-22,756	-1,203	3,250	-618	-1,517	-2,564	39	-3,568	-2,559	261	-14,470	4,737	-1,440	4,478	-	-

* 2021年1-3月と2022年同期累計差異。



カ 貿易収支

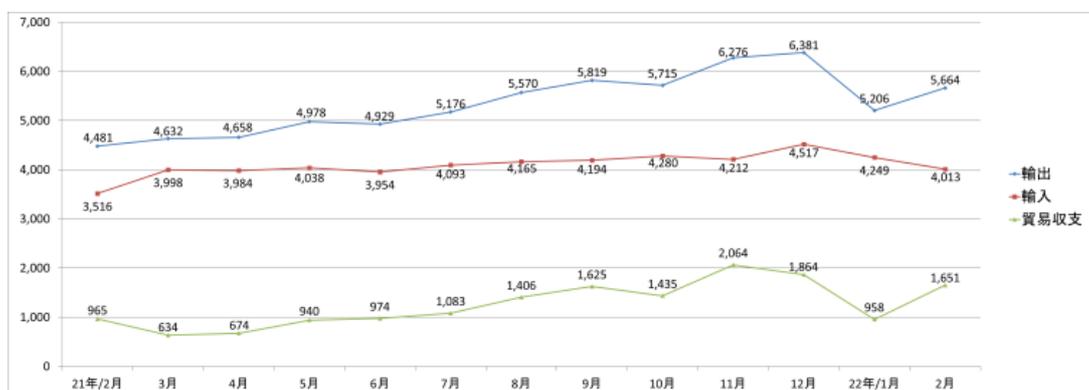
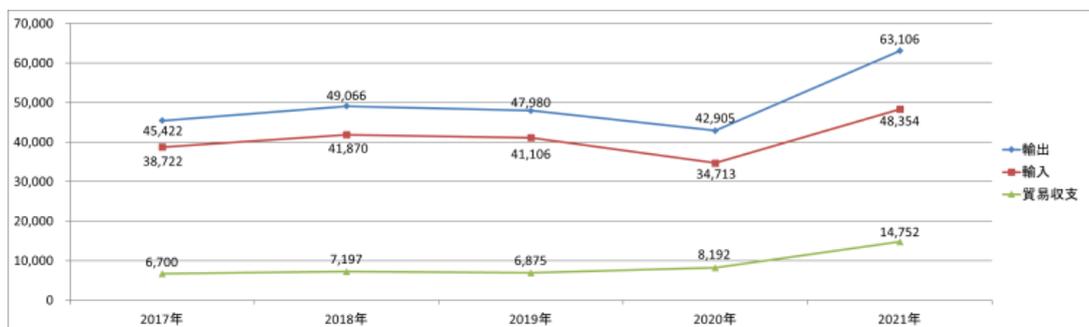
2月の輸出額は、伝統産品（鉱物資源、魚粉、コーヒー等）が対前年同月比25.7%増、非伝統産品（アスパラガスなどの近代的農業産品、繊維製品、工業製品等）が28.2%増となり、全体では約57億米ドル（対前年同月比26.4%増）となった。主要輸出品目は銅、金、天然ガス

であった。

輸入額は、対前年同月比で消費財が2.6%減、中間財は36.6%増、資本財が7.9%減となり、全体で約40億米ドル（対前年同月比14.1%増）となった。この結果、貿易収支は約17億米ドルの黒字となった。主要輸入品目は軽油、自動車、原油であった。

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	21年/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年/1月	2月	前年同月比	前年同月比率
輸出	45,422	49,066	47,980	42,905	63,106	4,481	4,632	4,658	4,978	4,929	5,176	5,570	5,819	5,715	6,276	6,381	5,206	5,664	26.4%	20.6%
- 伝統産品	33,595	35,638	34,014	30,013	46,541	3,322	3,517	3,458	3,753	3,757	3,779	4,189	4,234	4,080	4,694	4,558	3,716	4,476	25.7%	20.2%
- 非伝統産品	11,725	13,240	13,812	12,770	16,372	1,147	1,097	1,186	1,208	1,156	1,379	1,374	1,571	1,611	1,562	1,804	1,473	1,476	28.2%	21.4%
- その他	130	189	154	121	193	13	18	15	17	15	18	7	14	25	20	19	18	18	40.7%	39.2%
輸入	38,722	41,870	41,106	34,713	48,354	3,516	3,998	3,984	4,038	3,954	4,093	4,194	4,280	4,212	4,517	4,249	4,013	4,131	14.1%	20.0%
- 消費財	9,539	9,591	9,588	8,733	10,182	809	914	831	821	828	891	834	852	932	857	951	788	788	-2.6%	5.6%
- 中間財	17,902	20,515	19,110	15,435	23,999	1,646	1,822	1,897	1,975	1,954	1,969	2,135	2,185	2,256	2,254	2,311	2,227	2,248	36.6%	39.4%
- 資本財	11,216	11,641	12,305	10,455	14,035	1,056	1,255	1,221	1,237	1,149	1,213	1,189	1,151	1,087	1,115	1,250	1,229	972	-7.9%	1.6%
- その他	164	123	102	90	138	5	6	35	5	22	21	7	6	5	6	5	4	5	-15.7%	-41.9%
貿易収支	6,700	7,197	6,875	8,192	14,752	965	634	674	940	974	1,083	1,406	1,625	1,435	2,064	1,864	958	1,651	-	-

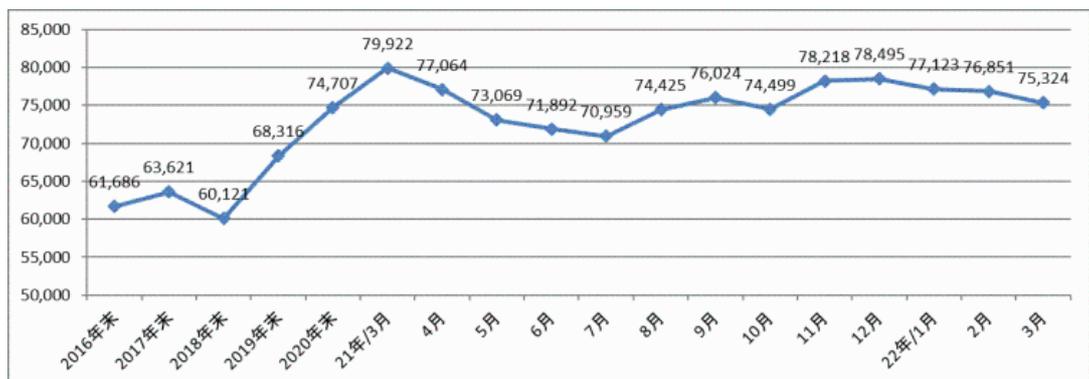
※ 2021年1-2月と2022年同期累計差異。



キ 外貨準備高

3月末の外貨準備高は約753億米ドルとなった。

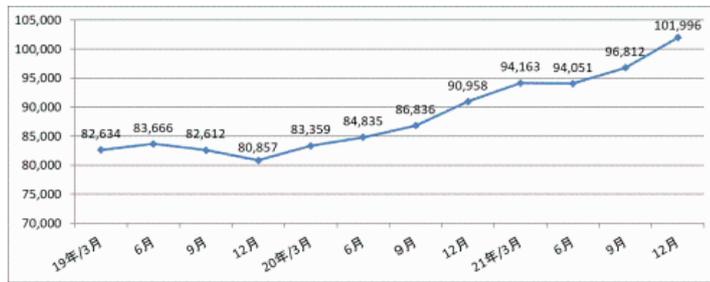
	2016年末	2017年末	2018年末	2019年末	2020年末	21年/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年/1月	2月	3月
外貨準備高	61,686	63,621	60,121	68,316	74,707	79,922	77,064	73,069	71,892	70,959	74,425	76,024	74,499	78,218	78,495	77,123	76,851	75,324



ク 対外累積債務

2021年12月末の対外債務累積総額は約1,020億米ドルとなった。

	2017年末	2018年末	19年/3月	6月	9月	12月	20年/3月	6月	9月	12月	21年/3月	6月	9月	12月	前年同月比
対外債務累積額	76,499	77,787	82,634	83,666	82,612	80,857	83,359	84,835	86,836	90,958	94,163	94,051	96,812	101,996	1.1%
- 中長期債務	68,019	68,430	73,681	75,470	74,111	72,988	74,396	76,003	77,857	81,209	85,053	82,610	86,118	92,496	1.1%
- 民間債務	35,067	33,518	35,343	34,926	35,819	33,724	33,620	32,337	32,370	31,324	31,971	30,399	31,024	31,957	1.0%
- 公的債務	32,953	34,912	38,338	40,543	38,292	39,264	40,776	43,666	45,487	49,885	53,082	52,211	55,094	60,538	1.2%
- 短期債務	8,480	9,356	8,952	8,196	8,501	7,869	8,963	8,832	8,979	9,748	9,109	11,441	10,694	9,500	1.0%



(注) 上記表中の数値は今後修正される可能性あり。

(2) 最近の主な出来事

・ペルーの経済協力開発機構（OECD）加盟プロセスの開始

1月27日、カスティージョ大統領は38か国が加盟するOECDの加盟プロセス開始の招待を受け入れる書簡に署名し、加盟への積極姿勢を示した。ペルーは2012年11月に同機構加盟を申請し、2017年にはアルゼンチン、ブラジル等とともに加盟候補国となっており、今般、加盟プロセス開始対象国となった。加盟には民主主義、人権擁護、開かれた経済、自由競争、法治国家、財政透明性、環境保全、汚職取締り等が条件付けられている。

・通商観光省発表：ペルーが2024年アジア太平洋経済協力（APEC）首脳会合の議長国に

2月10日、2022年APEC議長国であるタイにより、ペルーが2024年にAPEC議長国となる旨発表された。ペルーが議長国を務めるのは、2008年、2016年に続き3回目となる。サンチェス通商観光大臣は加盟国との通商拡大は中小零細企業による輸出や観光部門に大きな恩恵を与えると強調した。2021年の加盟国との貿易実績は675億米ドルと史上最高を記録し、総貿易額の67.8%を占めている。

・通商観光省発表：2021年ペルーは生鮮ぶどう輸出世界第1位

2021年、ペルーの生鮮ぶどう輸出額は12億6,000万米ドル（前年比22%増）に達し、チリ（輸出額9億2,800万米ドル）を抜いて世界第1位となった（第3位：米国、第4位：中国）。生産・出荷地はイカ州（6億500万米ドル）とピウラ州（4億8,800万米ドル）が全体の87%を占め、また、輸出企業149社のうち38%が中小零細企業であった。仕向け国は、第1位：米国（5億1,400万米ドル）、第2位：欧州連合（2億3,900万米ドル）、第3位：香港（1億2,800万米ドル）、第4位：英国（6,800万米ドル）、第5位：メキシコ（5,400万米ドル）であった。

・中銀（BCR）政策金利引上げ、3.5%から4.0%に上昇

3月10日、中銀（BCR）理事会は政策金利を4.00%に引き上げることを決定し、8か月連続での政策金利引上げとなった。この政策金利引上げは、国際的な食料や原油価格の高騰と為替の下落などにより直近12か月間累計のインフレ率が2月に6.15%となり一時的に目標値（1～3%）を上回ったこと、食料とエネルギーコストを除く2月の12か月間累計のコア・インフレ率も3.26%と目標値を上回っていること等に対応するインフレ抑制策の一環とされている。中銀（BCR）は、年明けから続いている顕著な原油や食料価格の高騰と為替の下落に加えて国際紛争などによる影響も考慮すると、インフレ率が目標値内に収まるのは2023年の上半期になると予測。

・ペルー外務省発表：ペルーがアジア・インフラ投資銀行（AIIB）に正式加盟

3月21日、ペルー外務省は同国のアジア・インフラ投資銀行（AIIB）への正式加盟をプレスリリースで報じた。それに先立つ3月17日には、ルイス・ケサダ駐中国ペルー大使が北京で開催されたAIIB本部の「加盟国国旗の間」でのペルー国旗掲揚式に参加し、金立群AIIB総裁から加盟国証明書を受理するとともに、同大使から金総裁にペルーの加盟宣言書の写しを手交した。ペルーがAIIB加盟国になるためには、数年かかった。2016年9月に当時のクチンスキー大統領の訪中時に正式に参加表明を行ったことから始まり、その後、議会での審議を長年保留にされた末に2021年11月に議会承認を受け、同年12月28日公布の大統領令第077-2021-RE号により公式に加盟宣言を行った。中南米地域ではアルゼンチン、ブラジル、チリ、エクアドル、ウルグアイに次ぐ6番目の加盟国となる。

(7)

[このページのトップへ戻る](#)

[法的事項 / アクセシビリティについて / プライバシーポリシー / このサイトについて / サイトマップ](#)

Copyright(C):2017 Embassy of Japan in Peru